

# 数学オリンピック 財団通信

No.71  
2026年5月15日  
(公財)  
数学オリンピック財団

## ▶▶ 第36回日本数学オリンピック(JMO)開催

第36回日本数学オリンピック(Japan Mathematical Olympiad : JMO)は、2025年7月1日から9月10日まで参加を募集し、応募総数は4,525名となった。11月16日(日)の予選は全国74会場で開催され、3,992名が参加した。予選の結果、170名がAランク者となり、予選免除者3名を含む受験対象者173名のうち、168名が本選に臨んだ。本選は2026年2月11日(建国記念の日)、全国12会場で行われた。その結果、下記の23名がJMO受賞者に選ばれ、3月20日(金)の表彰式で表彰された。

このうち18名が、2026年国際数学オリンピック(International Mathematical Olympiad : IMO)中国大会の日本代表選手候補選抜のための「代表選考合宿」に招待された。

## 第36回日本数学オリンピック(JMO)受賞者

賞	氏名	所属校	学年	賞	氏名	所属校	学年
川井杯・金賞	濱川 慎次郎	ラ・サール高等学校	高2	優秀賞	原 龍之介	灘高等学校	高1
銀賞	北野 聡一郎	開成中学校	中3	優秀賞	渡 辺 悠 平	敬愛高等学校	高2
銀賞	伊 藤 成 希	開成高等学校	高2	優秀賞	鈴 木 雄 智	筑波大学附属駒場高等学校	高2
銀賞	簇 智 里 奈	洛南高等学校	高1	優秀賞	宇 梶 颯 人	栄光学園高等学校	高2
銀賞	安 藤 匠 吾	灘高等学校	高1	優秀賞	野 下 晃 平	栄光学園高等学校	高2
銅賞	西 田 亮 太	大阪星光学院高等学校	高3	優秀賞	田 中 史 弥	東海高等学校	高1
優秀賞	保坂 智武郎	秋田県立秋田高等学校	高2	優秀賞	伊勢戸 皓太	灘中学校	中2
優秀賞	伊 藤 亘 輝	開成高等学校	高1	優秀賞	生 田 舜 一	灘中学校	中3
優秀賞	宮 内 聡 輔	筑波大学附属駒場高等学校	高1	優秀賞	濱 本 祐 輔	灘高等学校	高2
優秀賞	相 良 健 介	筑波大学附属駒場高等学校	高2	優秀賞	寺 内 洋 斗	須磨学園高等学校	高2
優秀賞	角 谷 賢 斗	開成高等学校	高3	優秀賞	寒 河 井 創 将	東京都立日比谷高等学校	高2
優秀賞	宝 田 怜 弥	京都市立洛風中学校	中3				

(以上23名。同賞内の配列は受験番号順、学年は2026年3月現在。)



川井杯・金賞の濱川慎次郎さん



銀賞の北野聡一郎さん・伊藤成希さん・安藤匠吾さん



銅賞の西田亮太さん

## ▶▶ 第24回日本ジュニア数学オリンピック(JJMO)開催

第24回日本ジュニア数学オリンピック(JJMO)は、JMOと同じく2025年7月1日から9月10日まで参加を募集し、応募総数は2,921名となった。11月16日(日)のオンライン予選には2,649名が参加した。予選の結果、135名が合格者となり、そのうち134名が、2026年2月11日(建国記念の日)、全国11会場で実施された本選に臨んだ。

予選と本選の総合成績により、下記の12名が成績優秀者に選ばれ、3月20日(金)の表彰式で表彰された。

金賞と銀賞の上位5名は、2026年IMO中国大会の日本代表選手候補選抜のための「代表選考合宿」に招待された。



金賞の三瓶秀真さん

## 第24回日本ジュニア数学オリンピック(JJMO)受賞者

賞	氏名	所属校	学年	賞	氏名	所属校	学年
金賞	三瓶 秀真	筑波大学附属駒場中学校	中3	銅賞	松本 政宗	筑波大学附属駒場中学校	中3
銀賞	和田 涼佑	東海中学校	中3	銅賞	金子 誠太郎	東大寺学園中学校	中2
銀賞	池田 達樹	灘中学校	中1	銅賞	高瀬 航太	灘中学校	中3
銀賞	水本 唯央利	灘中学校	中3	銅賞	菅野 裕暉	渋谷教育学園幕張中学校	中3
銀賞	山本 蒼介	灘中学校	中3	銅賞	松原 聡佑	久留米大附設中学校	中3
銅賞	新田 蓮音	朝霞市立朝霞第一中学校	中2	銅賞	濱邊 尚輝	高田中学校	中3

(以上12名。同賞内の配列は受験番号順、学年は2026年3月現在。)

## ▶▶ 第1回日本女子数学オリンピック(JGMO)開催

初開催となる第1回日本女子数学オリンピック(JGMO)は、JMOと共通の予選により実施された。予選の結果、92名が本選に進出し、そのうち91名が2026年1月12日(成人の日)、全国6会場で実施された本選に臨んだ。予選と本選の総合成績により、下記の10名が成績優秀者に選ばれ、3月20日(金)の表彰式で表彰された。さらに、上位4名は、2026年ヨーロッパ女子数学オリンピック(EGMO)フランス大会の日本代表選手に選出された。



JGMO表彰式

## 第1回日本女子数学オリンピック(JGMO)受賞者

賞	氏名	所属校	学年	賞	氏名	所属校	学年
金賞	旗 智里奈	洛南高等学校	高1	銅賞	境 愛央	神戸女学院高等学部	高1
銀賞	木村 遙	Darien High School	高2	銅賞	一角 芽以	東京都立武蔵高等学校	高1
銀賞	倉橋 七海	神戸女学院高等学部	高2	銅賞	柏岡 玲菜	渋谷教育学園渋谷中学校	中1
銀賞	中本 雪菜	広島国際学院高等学校	高1	銅賞	山本 ちひろ	豊島岡女子学園高等学校	高1
銅賞	盧 馨儀	筑波大学附属高等学校	高2	銅賞	谷 瞳	久留米大学附設高等学校	高1

(以上10名。同賞内の配列は受験番号順、学年は2026年3月現在。)

## ▶▶ アジア太平洋数学オリンピック(APMO)第22回国内大会

APMOは、太平洋を囲む国々が参加している数学のコンテストで、今年は第38回目にあたる。試験は、参加各国それぞれを会場として行い、北アメリカ及び南アメリカの国々は、3月第2月曜日の午後に、西太平洋及びアジアの国々は3月第2火曜日の午前実施することになっている。各国は、試験の結果を上位10位まで順位をつけて主催国に報告するとともに、1, 3, 7位の答案のコピーを添付し成績を決定している。今年の主催国はベトナムである。

今年のAPMO第22回国内大会は、有資格者26名のうち22名が参加して、2026年3月10日(火)に東京、大阪の2会場で行われ、右記の10名が日本代表に決定された。

## 第38回APMO日本代表選手

氏名	所属校	学年	氏名	所属校	学年
安藤 匠吾	灘高等学校	1年	伊藤 亘輝	開成高等学校	1年
濱川 慎次郎	ラ・サール高等学校	2年	伊藤 成希	開成高等学校	2年
原 龍之介	灘高等学校	1年	北野 聡一郎	開成中学校	3年
旗 智里奈	洛南高等学校	1年	野下 晃平	栄光学園高等学校	2年
伊勢戸 皓太	灘中学校	2年	宇梶 颯人	栄光学園高等学校	2年

(学年は2026年3月現在、アルファベット順)

## ▶▶ 第67回IMO中国大会日本代表選手

3月20日(金)から24日(火)の5日間で都内ホテルにおいて代表選考合宿を実施した。合宿中に行われたコンテストの結果により、第67回国際数学オリンピック(IMO)中国大会(本年7月開催予定)日本代表選手候補6名を選出し、4月4日(土)のJCIMOにおいて日本代表選手が下記の通り決定された。

氏名	所属校	学年	氏名	所属校	学年
安藤 匠吾	灘高等学校	2年	原 龍之介	灘高等学校	2年
濱川 慎次郎	ラ・サール高等学校	3年	伊藤 成希	開成高等学校	3年
濱本 祐輔	灘高等学校	3年	北野 聡一郎	開成高等学校	1年

(学年は2026年4月現在、アルファベット順)

## ▶▶ 第15回EGMOフランス大会日本代表選手

日本女子数学オリンピック(JGMO)予選および本選の総合成績により、第15回EGMO(EGMO2026)フランス大会(本年4月開催)の日本代表選手候補4名を選出し、1月25日(日)のJCIMOにおいて日本代表選手が下記の通り決定された。

氏名	所属校	学年	氏名	所属校	学年
旗 智里奈	洛南高等学校	2年	倉橋 七海	神戸女学院高等学部	3年
木村 遙	Darien High School	3年	中本 雪菜	広島国際学院高等学校	2年

(学年は2026年4月現在、アルファベット順)

## ▶▶ 日本数学オリンピック(JMO)表彰

日本数学オリンピック(JMO)、日本ジュニア数学オリンピック(JJMO)および日本女子数学オリンピック(JGMO)では、成績優秀者の表彰制度がある。JMOでは、財団で定めた地区割りによって、各地区での応募者の約1割の成績上位者を地区表彰者として表彰している。

さらに、JMOでは、本選合格者において、最優秀者には川井杯と金賞を授与し、以下、銀賞、銅賞、優秀賞として、賞状、メダルや盾を贈呈して表彰している。JGMOおよびJJMOにおいても、成績優秀者に金賞、銀賞、銅賞として賞状、メダルを贈呈して表彰している。

第36回表彰式は、3月20日(金)府中市市民活動センタープラッツ・バルトホールで実施された。



# ▶▶ 第36回日本数学オリンピックAランク者一覧

氏名	学年	学校名
吉野 志悠	高2	札幌日本大学高等学校
保坂 智武郎	高2	秋田県立秋田高等学校
草苺 零生	高2	秋田県立秋田高等学校
峯田 周	高1	山形県立山形東高等学校
茅野 智裕	高2	山形県立山形東高等学校
佐藤 大河	高2	茨城県立並木中等教育学校
加納 拓実	高2	茨城県立並木中等教育学校
浦上 泰輔	高1	開成高等学校
松尾 洋佑	高3	渋谷教育学園幕張高等学校
伊藤 亘輝	高1	開成高等学校
井面 壮一朗	高1	渋谷教育学園幕張高等学校
小林 高誠	高1	開成高等学校
三木 裕翔	高2	埼玉県立熊谷高等学校
中山 幹太	高1	早稲田高等学校
山本 大河	高1	東京都立桜修館中等教育学校
会田 俊哉	高1	筑波大学附属駒場高等学校
長谷川 翔大	高2	筑波大学附属駒場高等学校
岡野 リオ	高2	日米教養学園
永重 諒人	高1	筑波大学附属駒場高等学校
安井 寛人	高2	慶應義塾高等学校
塩野 博哉	高1	開成高等学校
宮内 聡輔	高1	筑波大学附属駒場高等学校
山本 一揮	高2	筑波大学附属駒場高等学校
富田 亮仁	高1	開成高等学校
相澤 隆斗	高2	東京都立武蔵高等学校
田頭 直樹	高1	慶應義塾高等学校
桐 仁之介	—	既卒
相良 健介	高2	筑波大学附属駒場高等学校
吉田 啓志	高2	筑波大学附属駒場高等学校
陳 禹橋	高2	筑波大学附属駒場高等学校
北野 聡一朗	中3	開成中学校
吉浦 知寿	高1	開成高等学校
中島 未英	高2	N高等学校
西澤 悠矢	中3	世田谷学園中学校
伊藤 成希	高2	開成高等学校
高田 凱成	高1	筑波大学附属駒場高等学校
弓気多 珠門	高1	筑波大学附属駒場高等学校
内田 幸一	高2	広尾学園高等学校
長嶋 日向	高2	東京都立日比谷高等学校
梶保 怜誠	高1	筑波大学附属駒場高等学校
中野 竜	高2	筑波大学附属駒場高等学校
大川 総太郎	高1	筑波大学附属駒場高等学校
山下 陽槻	高2	早稲田実業学校高等部
小田 真史	高1	筑波大学附属駒場高等学校
佐藤 勇太	高1	筑波大学附属駒場高等学校

氏名	学年	学校名
布留川 慧	中3	文京区立第九中学校
上坂 泰希	高1	開成高等学校
笥 敬介	高2	筑波大学附属駒場高等学校
吉井 史穂	高2	筑波大学附属駒場高等学校
但見 東	中2	筑波大学附属駒場中学校
遠藤 悠叡	高1	筑波大学附属駒場高等学校
三浦 寛樹	中3	開成中学校
角谷 賢斗	高3	開成高等学校
石山 陽都	—	既卒
續 敬太	高2	開成高等学校
盧 馨儀	高2	筑波大学附属高等学校
村田 岳土	高2	サレジオ学院高等学校
峰地 悠真	高1	東京都市大学付属高等学校
鈴木 真悠子	高2	桜蔭高等学校
馬場 温久	高2	開成高等学校
長 朝日	高3	慶應義塾高等学校
福山海 斗	高2	昭和学院秀英高等学校
松崎 颯太郎	高1	市川高等学校
牧本 健	高2	渋谷教育学園幕張高等学校
清水 陽葵	高2	開智高等学校
加藤 嶺	中3	東京都立武蔵高等学校附属中学校
一角 芽以	高1	東京都立武蔵高等学校
小野 順正	高1	麻布高等学校
蓑輪 漸	高1	渋谷教育学園渋谷高等学校
上野 貴裕	高1	渋谷教育学園渋谷高等学校
窪田 直広	高1	早稲田高等学校
山本 ちひろ	高1	豊島岡女子学園高等学校
川崎 隼人	高1	神奈川県立平塚中等教育学校
宇梶 颯人	高2	栄光学園高等学校
野下 晃平	高2	栄光学園高等学校
矢部 耕大	高2	栄光学園高等学校
山本 真廣	高2	栄光学園高等学校
重元 健太郎	高3	聖光学院高等学校
三島 宏介	高3	聖光学院高等学校
久保 遼弥	高2	聖光学院高等学校
柳田 桂太	高1	聖光学院高等学校
鈴木 嶺偉	高1	聖光学院高等学校
中川 泰明	高1	聖光学院高等学校
高松 昊輝	高2	茨城県立土浦第一高等学校
畠山 昊大	高2	栃木県立宇都宮東高等学校
長澤 一輝	高2	埼玉県立大宮高等学校
本橋 拓人	高2	東京学芸大学附属高等学校
橋本 拓海	高1	東京都立日比谷高等学校
寒河井 創将	高2	東京都立日比谷高等学校
大塚 悠徳	中3	武蔵中学校

氏名	学年	学校名
村上 遼	高2	武蔵高等学校
小幡 朋陽	高2	芝浦工業大学附属高等学校
渡部 躍斗	高1	芝浦工業大学附属高等学校
緒方 慧介	高2	神奈川県立横浜翠嵐高等学校
小泉 光輝	高1	神奈川県立横浜翠嵐高等学校
三谷 樹生	高1	石川工業高等専門学校
石塚 文也	高2	金沢大学附属高等学校
濱坂 陽生	高1	石川県立小松高等学校
市川 遙一	高3	福井県立高志高等学校
長谷川 奏	高1	東海高等学校
小山 裕生	高2	滝高等学校
今井 咲陽	高2	南山高等学校女子部
杉浦 右恭	高2	岐阜県立岐阜高等学校
牛嶋 秀介	高2	鷺谷高等学校
青山 瑛士郎	高1	東海高等学校
田中 史弥	高1	東海高等学校
安田 賢司	高2	東海高等学校
松山 翔馬	高1	灘高等学校
波多野 權	高2	灘高等学校
太田 景翔	高1	愛知県立岡崎高等学校
古山 賢	高1	岐阜県立岐阜高等学校
高橋 太陽	高2	幸福の科学学園関西高等学校
宝田 怜弥	中3	京都市立洛風中学校
山下 隼人	高1	灘高等学校
三好 桜人	高2	京都市立西京高等学校
旗智 里奈	高1	洛南高等学校
竹村 考史	高2	東大寺学園高等学校
幸田 明	高2	関西大倉高等学校
佐藤 怜哉	高1	大阪府立藤井寺工科高等学校
池田 穰	高2	東大寺学園高等学校
康原 晴心	高3	大阪府立天王寺高等学校
西田 亮太	高3	大阪星光学院高等学校
原 龍之介	高1	灘高等学校
荒川 息吹	中1	灘中学校
大杉 琉悟	高2	灘高等学校
倉橋 七海	高2	神戸女学院高等学部
佐野 偉亮	高1	洛南高等学校
大塚 勇弥	高2	洛南高等学校
中野 賢斗	高2	大阪星光学院高等学校
伊勢戸 皓太	中2	灘中学校
神戸 俊次郎	中2	灘中学校
生田 舜一	中3	灘中学校
田中 絆	高1	灘高等学校
前田 芯	高1	灘高等学校
松島 優	高1	灘高等学校
大西 慧	高2	灘高等学校
加持 太一	高2	灘高等学校

氏名	学年	学校名
加野 琢雲	高2	灘高等学校
小矢野 翔太	高2	灘高等学校
中口 佳駿	高2	灘高等学校
濱本 祐輔	高2	灘高等学校
寺内 洋斗	高2	須磨学園高等学校
杉江 啓	高2	西大和学園高等学校
宇野 瑛生	高2	滋賀県立膳所高等学校
山村 明	高1	滋賀県立膳所高等学校
奥田 晃平	高2	京都市立堀川高等学校
岩佐 篤	高1	甲陽学院高等学校
岡本 涼佑	高2	甲陽学院高等学校
加藤 日々輝	高2	甲陽学院高等学校
藤原 宗玄	高2	岡山県立倉敷天城高等学校
松岡 俊太	高1	香川県立高松高等学校
山崎 瑛太	高2	灘高等学校
小林 昌史	高2	岡山県立岡山操山高等学校
黒崎 智隆	高3	島根県立松江北高等学校
中本 雪菜	高1	広島国際学院高等学校
脇 真之	—	既卒
岡野 光佑	高2	広島大学附属福山高等学校
西崎 礼旺奈	高1	愛媛県立松山東高等学校
築地 佑門	高1	大牟田高等学校
岸川 恭佑	高2	明治学園高等学校
渡辺 悠平	高2	敬愛高等学校
谷 瞳	高1	久留米大学附設高等学校
坂本 皓	高1	久留米大学附設高等学校
三原 駿	高2	久留米大学附設高等学校
江頭 由梨	高2	久留米大学附設高等学校
村上 颯人	高2	福岡県立筑紫丘高等学校
石川 巧真	高1	大分県立大分上野丘高等学校
濱川 慎次郎	高2	ラ・サール高等学校
前原 宏哉	高2	宮崎県立宮崎西高等学校
嘉数 剛弥	高2	昭和薬科大学附属高等学校

(以上170名、学年は2026年3月時点)

# ▶▶ 第15回EGMOフランス大会

- 1 開催地 フランス (ボルドー)
- 2 日程 4月9日から4月15日  
開会式10日・コンテスト11日・12日  
閉会式14日
- 3 参加国数 66ヶ国・地域 (67チーム)
- 4 参加人数 260名
- 5 日本選手の成績

金メダル	木村 遙	Darien High School	高3
金メダル	旗智里奈	洛南高等学校	高2
銅メダル	中本雪菜	広島国際学院高等学校	高2
	倉橋七海	神戸女学院高等学部	高3

- 6 国別順位 **日本：10位**  
(1 中国 2 ルーマニア 3 トルコ)

## EGMOフランス大会 日本選手の声

各選手に、EGMOフランス大会の感想を書いてもらいました。

- ①フランス (ボルドー) の印象
- ②宿舎について
- ③コンテストについて
- ④外国選手との交流について
- ⑤観光での印象
- ⑥今回のEGMOの全体の感想

### 旗智里奈 選手

①石造りの建物が立ち並び、どこを切り取っても絵になりそうな風景でした。Treasure huntで世界遺産の街ボルドーの名所をめぐり、石畳やゴシック様式の建築物に囲まれて中世の雰囲気を満喫しました。

②おしゃれで美しいホテルで、とても快適に過ごせました。朝食のビュッフェではクロワッサンやカヌレやパン・オ・ショコラなどが並び、フランスならではの品が充実していました。

③Day 1は、ストライキの影響により路面電車が遅延する可能性があるということで、出発時刻が予定より1時間も早い6時40分に変更され、朝の準備が大変でした。答案用紙が珍しく罫線ありの紙で、Day 1では少し戸惑いました (Day 1には幾何の出題はなく、Day 2では幾何の作図がしやすいように罫線なしの白紙も配られました)。

コンテストについては、しっかり答案をかけた問題もある一方、ミスをしてしまった問題もあり、時間内に正確に解ききることの難しさを改めて感じました。

④バスの待ち時間や夕食後の自由時間に、お菓子や文房具を交換したり、インスタを交換したりしました。オーストラリアの選手が「鞆を見て!」と言ってきたので私の鞆を見ると、いつの間にかコアラのマスコットが付いていて笑いました。昨年にも会ったトルコの選手とキルギスタンの

選手が今年も話しに来てくれて、とても嬉しかったです。Farewell partyではスリランカの選手と仲良くなり、夜遅くまで一緒にディスコに参加したのも良い思い出になりました。

⑤観光1日目は、ボルドーワインの産地として有名な世界遺産の街サンテミリオンに行き、一枚岩から掘られた教会や壮大に広がるブドウ畑を訪れました。観光2日目は、ヨーロッパ最大と言われるピラ砂丘に行き、さらさらの砂の山を走って登って遊びました。三宮さんが恐竜のマスコットを砂風呂に入れていて、おもしろかったです。

観光の間は日本チームでまわる場面が多く、チューターさんやガイドさん、他の日本選手との仲が深まりました。ガイドのアントワンさんはボルドー大学の職員で、マカロンをプレゼントしてくれたり、日本語で話しかけてくれたり、日本語で書いた直筆の手紙をくださったりして、とても素敵な方でした。

⑥今年も日本代表としてEGMOに参加するという貴重な経験をさせていただき、とても嬉しく思っています。コンテストについては不安もありましたが、支えてくださった財団の方々や団長団・チューターの方々、ガイドさんや他の日本選手の方々のおかげで、楽しく充実した1週間を送ることができました。本当にありがとうございました。



EGMO人文字



エクスカージョン(サンテミリオン)

## 木村 遙 選手

①想像していた通りの美しい街並みでした。中心にはガロンヌ川が流れていて、川沿いにはカフェも多く、ゆっくり過ごしたくなるような雰囲気でした。また街には素敵な花が多く飾られていて、思わず見惚れました。ただ、ホテル近くの歩道はボコボコした石畳で、スーツケースの車輪が引っかかって大変でした。

②なんと冷房がなく、直射日光が入る部屋だったため、日中は暑くてバテていました。一方で夜はとても冷え、窓を全開にしていたら寒くて凍えそうになりました。白米が恋しくなりつつも、パンのおいしさには感激しました。またドライヤーは握ると風が出る設計で、握力が鍛えられました。

③Day 1：フランスに来てから体調が悪く、寝れていない……。コンディションは最悪、得意の幾もない……。全完するという目標は初日にして打ち砕かれ、金メダルにはDay 2全完が必要な局面に追い込まれましたが、それでも試験中は妙に落ち着いていました。

ホテルに戻ってからは電話で嘆きを聞いてもらったり、Day 2の5Gに向けてルームメイトと幾何を解いたりして、楽しかったです。

Day 2：4番にどっぷり沼ったものの、経験から学んだ「固執せずに0から考える」という一步を踏み出したらすぐに解けました。5番は図が複雑でちょっと怖かったですが、解けました。感触は悪かったですが、奇跡的に2番の飛躍が見逃され、3番6番に部分点がくるさ〜と現実逃避しながら過ごしていました。

……が、スコアボードに映ったのは760770。銀メダルだと思って泣いていましたが、ガイドさんに「?今8位だよ」と教えられ、信じがたい嬉し泣きになりました。今でも信じられません。

④海外選手と積極的に交流する機会はあまりありませんでしたが、ボランティアのガイドさんたちと楽しい時間を過ごしました。日本チームのガイドをしてくださったアントワーンさんはとても面白く、別れ際には日本選手全員にワインと日本語で書かれた手紙をくださり本当に感動しました。しかも普段はボルドー大学で教えていらっしゃる先生で、そのことにも驚きました。南アフリカのガイドのマチ

ューさんもとてもフレンドリーで、パンを買って部屋まで届けてくださるなど、お二人もとても優しく日本語も話せてとても心強い存在でした。

⑤Day 2の後はボルドーを観光し、エクスカージョンではSaint-Émilionという中世ヨーロッパの町と、Dune of Pilatというヨーロッパ最大級の砂丘に行きました。1日目のサン・テミリオンでは、町の隅々まで急な坂を上ったり下ったりしながら散策しました。空がきれいに晴れていて景色もとても良く、抜け出して食べたケーキも美味しかったです。2日目の砂丘は自分が海派か山派かわからない人にはピッタリの場所で、苦勞して登った頂上では風が心地よく、一方には海、もう一方には森が広がっていて印象的でした。⑥本当に楽しくて、一生残るような経験になりました。数多くの方々の様々な支えの上に成り立っているのだ（応援してくださったり、憧れになってくださったり、手を温めてくださったり）と心から思います。感謝してもしきれません。これで数オリは卒業となります。なかなか思うようにはいきませんでした。楽しく、幸せだと思える時間を過ごせました。長い間本当にありがとうございました。

PS.これから挑戦する方々へ：楽しんで頑張ってください!! Twitterなどで探せばたぶん見つかると思います。お力になれるかはわかりませんが、もし聞きたいことがあればいつでも聞いてください。



エクスカージョン(ピラ砂丘)



カナダチームと国際交流



ランチ

## 倉橋 七海 選手

①街やホテルでもちょっとした配色や形が凝っている製品・建物が多く、流石フランス…！となりました。

②清潔でとても良いホテル。朝食でカヌレやクレープ、クロワッサンが食べられるのが幸せでした。

③酷い出来です。本番って想像以上に厳しいものだなと思います。Day 1は1番の意味を誤って読んで進み、どうやっても示せなさそうだと気付いたのが3時間後。1番は解けるものと思っていたため半ばパニックで2番に取り組むも上手くいきませんでした。後で英語の問題文を見ると1番の意味はすっと分かったので試験中に見てみるべきでした。ライフハックですね。Day 2はなんとか切り替えましたが、4番の不等式で初歩的すぎるミスを犯すなど総じて弱かったです。ベストを出さなければと勝手に緊張で硬くなって、平常運転の時のぐっと踏ん張って深く考える感覚がいつまでも感じられず苦しかったです。緊張は全員同じなので、緊張に負けない実力を持ち、かつ力を発揮できる他の日本代表のことを本当に尊敬します。

④大好きなムーミンの巨大ぬいぐるみを持ったフィンランドチームと写真を撮ったり、カザフスタンの馬の肉が美味しすぎる話を延々とされたり書ききれない程思い出があります。特に印象的なのは、スコア発表の夜に同スコアのアルメニアの子が廊下で話しかけてくれ、2時間以上色々な話をして少し心が軽くなったことです。その子は去年あと一歩で銀メダルだったようで、とても悔しがっていました。異様な香りを放つ伝統のお菓子(約50cm)を貰い、今もインスタで話しています。他にも他国のleader等多くの人と話して慰めて貰い、国際大会って素晴らしいなと思いました。

⑤人が温かく、日本語で話してくれる方もいました。ガイドさんが優しくてマカロンやワインを買ってくれたり、他国のガイドさんがパン屋のパンを届けてくれたりしました。

⑥強化合宿まで数オリで仲間ができるとは思っていませんでしたが、もっと早くこの世界を知っていたらもっと頑張れたのかな(その実力がなかったのですが笑)と思わずにはいられない程、チューターさんや事務局の方含め本当に温かかったし、代表決定後に通信添削等を通じて正しい頑張り方を少し掴んでからは、数学が今までで一番楽しかったです。結果が悪すぎて申し訳ない気持ちで一杯ですが、頂いた機会をプラスの意味にすることが私にできることかなと思っています。家族、日本チーム、チューターさん等数オリの大先輩の方々、EGMOという大会全てに感謝します。



ファイト!



ガイドのAntoineさんと一緒に



表彰式

## 中本 雪菜 選手

①伝統的な建物が多く、自然豊かで落ち着いた雰囲気でも過ごしやすかった。路面電車の決済が自己申告制だったり盗難などの被害に遭わずに済んだりするなど治安が良かった。信号の色ではなく車が来ているかどうかを見て渡る斬新なスタイルには驚かされた。

②ベットが大きかったので寝心地は悪くなく、シャワーとトイレが別なのも良かった。しかし、直射日光が射す上にエアコンがないので朝は寒くて昼は暑いので過ごしにくかった。周りにEGMO関係者しかいないのは安心できた。カードキーを紛失したが、新しいものを貸し出してくれた。

③Day 1の前日の夜は疲れからぐっすり眠れたが、朝になると緊張して何も手につかなかった。謎のタイミングでコンテストが始まり動揺。空腹だったのでグミを10分に一回は食べていた。ざっと眺めると苦手分野のGがないことに気づき歓喜。1Cの構成ミスに3時間経った時に気がつきなんとかなった。結局1完と2点ぐらいの小問で終了。

Day 2はJPN 2によると5Gを解けるかどうかでメダルの色が変わるらしい。複素計算お祈りをするも円がたくさんあり、ハズレ。作図と追跡の結果、5Gは共線を示す必要がありそうで、メネラウスお祈りをした。諦めて4に取り掛かる。4Aで不等号の向きを変えないミスによりガバガバの不等式を作ってしまう、下からしか正しく評価できず1完弱で終了。コンテストで二日間何もできないことを懸念していたが、回避して安堵した。

④英検2級でも対面で会話する分にはなんとかなった。普通のスピードで話されるとところどころしか聞き取れず、どうにか補完した。お土産を交換したりコンテストの解法を共有したりできた。EGMO関係者は親切なので話しかけやすかった。

⑤ボルドーの建造物は概ね昔からのものなので、文化が現れていて、洗濯用のため池的なものなど昔の人の生活の痕跡なども見られた。ヨーロッパ最大の砂丘を8割程度登って力尽き、4足歩行の登山における合理性を発見した。砂丘でキャッチボールをしてみたところ、定まらないコントロールとあり得ないイレギュラーバウンドに悩まされたがそれも面白かった。

⑥今まで数学的なコミュニティに属したことがなく、海外旅行も初めてで新鮮なことばかりだった。観光を楽しんで、日本にメダルを持って帰れたので良い大会になったと思う。

## EGMO 大会役員の感想

### 団長 中村 勇哉

数学オリンピックの国際大会では、「コーディネーション」という独自の採点方式が採用されています。試験後、まずは我々日本側スタッフが選手の日本語の答案を精査します。一方で、大会側が用意した「コーディネーター」も、多くの場合日本語は解さないながらも、数式などから事前に採点を行います。その後、両者がセッションで顔を合わせ、1問あたり20~30分という限られた時間の中で意見をすり合わせ、最終的な得点を決定します。

コーディネーターは日本以外にも多くの国を担当しており、事前に日本語の答案を細部まで読み込むことは困難です。そのため、コーディネーションの場では単なる翻訳に留まらず、生徒が書いた答案のロジックそのものを詳しく説明することになります。相手が日本語を十分に理解できない以上、このシステムは日本側スタッフへの深い信頼の上に成り立っており、その背景にはオリンピズムに通じるフェアプレーの精神があるといえるでしょう。

また、生徒の答案が想定解から外れている場合、その妥当性をどう評価し、採点基準にどう落とし込むかはコーディネーターとの共同作業となります。日本の定期試験や入試とは異なり、「軽微なミスは寛容に扱う」という共通認識がある点も、数学オリンピックならではの文化です。時には、限られた時間で書かれた判読の難しい答案を、両者でパズルのように読み解く場面もあります。選手にとっては気が気でない時間かもしれませんが、我々スタッフにとっては、数学を通じた大切に楽しい交流のひとつとなっています。

EGMOは、献身的なコーディネーターやガイドなど、多くのボランティアに支えられています。数学という共通言語を通じて、選手もスタッフも一つのコミュニティになれるこの素晴らしい場に参加できたことを、心から嬉しく思います。



中村団長とガイドのAntoineさん

## 副団長 高橋 誠二

EGMO2026がフランスのボルドーで開催され、日本チームの一員として参加することができました。私は副団長という立場でしたが、団長をはじめ、オブザーバーの皆様を支えていただきながら、無事に大会期間を過ごすことができたというのが率直な実感です。

選手たちは、慣れない海外の環境の中でも、一人ひとり本当によく頑張っていました。難しい問題に向き合う姿勢はもちろん、仲間と過ごす時間や海外の選手たちとの交流も、かけがえのない経験になったと思います。

私自身は、選手たちのサポートや写真速報のホームページへの掲載など、裏方としてできることを心がけました。大会中の選手たちの表情や現地の雰囲気を、少しでもお伝えできていれば幸いです。

ボルドーの街は、石畳の道や歴史を感じさせる建物がとても印象的でした。長い時間を重ねてきた街並みの中で、選手たちが数学に挑戦している姿を見ると、この大会が単なる競技にとどまらない大きな意味を持っているように感じました。

また、現地でお世話になったガイドの方が大変親切で、日本語での会話や読み取りもできたため、とても心強く感じました。細やかな気配りに何度も助けられ、深く感謝しています。

今回のボルドーでの経験を、選手たちがこれからの学びや成長に活かしてくれれば、これほどうれしいことはありません。大会を支えてくださったすべての皆様に、心より感謝申し上げます。



オブザーバーの宿田さん・三宮さん・長尾さん

## オブザーバー 宿田 彩斗

EGMOへの参加は初めてであったため不安も多かったが、まずは日本選手団全員が大きなトラブルなく無事に渡航を完了できたことにホッとしています。ボルドーは街並みや治安が良い街で、ホテルも良く、「店に入ったら必ずボンジュールと挨拶する」以外に日本で過ごす時以上に気をつけるべきことも特になく、海外に来たとは思えないほど過ごしやすかったです。またフランス側もおそらく大会運営に慣れているようで、大会全体として非常に良い環境でした。EGMOはIMOと比べてかなりほのぼのとした雰囲気であり、活発に国際交流が行われているのが印象的でした。日本選手もその例に漏れず、コンテスト以外の側面もかなり充実した良い経験になったのではないかと思います。

問題の難易度は高めであったと思います。そういう時はメダルのボーダーも下がるとはいえ、問題が解けなかったという事実がメンタルに響くので選手全員が普段通りの実力を発揮できるか試験前は不安でした。実際に過去2番目に難しい大会と評されており、日本も完答数だけを見れば例年より少なかったと思います。実際、答案が届いてざっと眺めた時はかなり厳しい結果を覚悟していました。しかし、そんな中難しい問題をきっちりと解き切っていたり、解けなかった問題についても積極的に取り組んで解けなかったなりにできることをしっかりやっていたりしたのが印象的でした。その分コーディネーションの準備も大変でしたが、その取り組みが点数として適切に反映されて非常に嬉しかったのを記憶しています。

大会運営が慣れていたこともあり、採点基準も明確で、「各国が点数を欲しがらる側、主催国が点数をあげたくない側」という構造よりかは、むしろ主催国側から追加の点数を提示してくれることもあったように、主催国側は「採点基準に則った正しい点数を与える側」である、という表現が本大会の実態であったと思います。採点基準の歪みによる点数のゴネどころのようなものは特になかったこともあり、その立場を尊重したコーディネーションを行い、納得できない部分も少しあり揉めることもありましたが基本的にこちらの考える妥当な点数（むしろそれよりも少し高いことが多かった）が得られたと思います。

選手各々、満足いく結果が得られた人もいればそうでない人もいたように思いますが、まずは成し遂げたことすべて（代表に選ばれたことから含めて）に改めてお祝い申し上げます。この大会を通じて得た経験を将来に活かしてもらえると嬉しいです。そして自分自身にとっても良い経験となりました。これは団長団の他の方々のみならず選手4人も含めた全員のおかげです。関係者全員に感謝を申し上げます。

## オブザーバー 三宮 春香

ボルドー空港から会場のホテルまでは公共交通機関のトラムで移動した。現地ではバスとトラムが主要な交通機関となっているようで、大会からは7日間のフリーパスが支給された。会場までの移動でこれから始まるコンテストへの期待が高まった。到着した日は空き時間があったので“Librairie Mollat”というボルドー最大級の書店で本を買った。フランスの数学オリンピックの参考書があったら見てみたかったが、探した範囲では見つけることができなかった。

開会式の日夜の夜に問題文の翻訳作業を行った。翻訳が終わった言語から後ろの壁に貼る形式となっており、自国の翻訳が終わったら他の言語の問題文を眺めて時間を潰していた。第6問には“positive divisors  $\ell$ ”という語が現れるのだがこの“positive”を訳し忘れていた国もあったようで、宿田さんが問題文の他の部分を手掛かりにして“positive”に対応する語を特定し、他の言語の問題文の誤訳を指摘していた。全部の言語の翻訳が終わって解散となったのは午前2時半で、「やっと寝られる」と歓喜の声が上がっていたのが印象的だった。

コンテストは問題設定が複雑な第1問を皮切りに全体的に難しい問題であったが、選手たちの答案からは健闘がうかがえた。また、第5問はIMO 2 番級に相当する難問であったが、2人の日本選手が完答しており、素晴らしい出来であった。

国際情勢の危ぶまれる中での渡航ということで若干の不安はあったが、何事もなく行程を終えられたのは幸いだった。また、数学における女子の活躍を支援するという理念を持ったこの大会に参加できたことは光栄である。大会を運営してくれた方々に感謝するとともに、選手達にとってこの大会が今後の数学人生の糧となることを願う。



日本代表団(羽田空港)

## オブザーバー 長尾 絢

大学の第二外国語でフランス語を学んだこともあり、今回のEGMOでフランスを訪れる機会をいただけたことを大変嬉しく思っている。開催地はパリから離れたボルドーであり、念願であったパリ観光が叶わなかった点は残念であったが、食事也非常に美味しく、ボルドーでも十分にフランスの魅力を満喫することができた。

Observer Bとしての参加であったため、生徒と行動を共にする機会が多く、コーディネーションにもあまり積極的に参加することはできなかったが、団長団の一員としてEGMOに参加できたことは貴重な経験であり、良い思い出となった。また、EGMO2023で親しくなった海外の友人が、本大会ではコーディネーターやオブザーバーとして参加しており、3年ぶりに再会できたことも大きな喜びであった。夏からアメリカに留学するため、アメリカの団長団とは積極的に交流するようにした。

観光ではボルドー市内を歩いたり、ピラ砂丘を訪れたりした。砂丘に登るのは想像以上に大変で、バス酔いも重なり体調を崩してしまったが、頂上からの景色は圧巻であり、強く印象に残った。ボルドーは有名なワインの産地であるが、スーパーでワインが平均約9ユーロで販売されていたことには驚いた。

生徒時代はコロナ禍の影響により、3回中1回しか現地参加が叶わず悔しい思いをしたが、今回あらためて現地開催のEGMOに参加できたことに感謝している。また機会があれば参加したいと思う。



日本代表団(ミロワール・ドー〈ブルス広場〉)

### 第15回EGMO 2026フランス大会 日本代表団の役員

- ◎団長 中村 勇哉 名古屋大学大学院准教授・JCIMO
- ◎副団長 高橋 誠二 数学オリンピック財団
- ◎オブザーバー
  - 宿田 彩斗 東京大学大学院数理科学研究科
  - 三宮 春香 東京大学理学部数学科
  - 長尾 絢 慶應義塾大学医学部医学科

# ▶▶ 2026年度 JMO・JGMO・JJMO大会



応募の詳細は、数学オリンピック財団ウェブサイト (<https://www.imojp.org/>) でご確認ください。

## 第37回日本数学オリンピック(JMO)開催予定

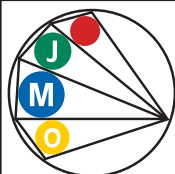
試験日時：(予選) 2026年11月15日(日) 午後1時～4時  
(本選) 2027年2月11日(木：建国記念の日) 午後1時～5時  
試験会場：全国主要都市(予選：各県1ヶ所以上を予定) 募集要項参照  
応募資格：2026年11月時点で、大学教育(またはそれに相当する教育)を受けていない20歳未満の者。  
ただし、IMO代表資格は、IMO大会時点で高校生以下の者。  
試験内容：前提とする知識は、世界各国の高校程度で、整数問題、幾何、組合せ、式変形等の問題が題材となります。  
(微積分、確率統計、行列は範囲外です。)  
受験料：5,000円(納付された受験料は返還されません) 学校一括申込割引制度有

## 第2回日本女子数学オリンピック(JGMO)開催予定

試験日時：(予選) 2026年11月15日(日) 午後1時～4時(JMO予選と共通)  
(本選) 2027年1月11日(月：成人の日) 午後1時～5時  
試験会場：全国主要都市(予選：各県1ヶ所以上を予定) 募集要項参照  
応募資格：2026年11月時点で、大学教育(またはそれに相当する教育)を受けていない20歳未満の者。  
ただし、本選出場資格は、本選出場時点で高校2年生以下の者。  
試験内容：前提とする知識は、世界各国の高校程度で、整数問題、幾何、組合せ、式変形等の問題が題材となります。  
(微積分、確率統計、行列は範囲外です。) 予選問題はJMOと同じです。  
申込：JMOにご応募ください。JMOに応募した女性はJGMOに自動的にエントリーされます。

## 第25回日本ジュニア数学オリンピック(JJMO)開催予定

試験日時：(予選) 2026年11月15日(日) 午後1時～4時  
(本選) 2027年2月11日(木：建国記念の日) 午後1時～5時  
試験会場：予選：オンライン 本選：全国主要都市 募集要項参照  
応募資格：2026年11月時点で、中学3年生以下の者。  
試験内容：前提とする知識は、世界各国の中学校程度で、数の問題、図形の問題、ゲーム、組み合わせ的問題などです。  
学校で日常学習する内容と多少異なる問題も題材となります。  
受験料：4,000円(納付された受験料は返還されません) 学校一括申込割引制度有



# 数学オリンピック財団通信

No.71 2026年5月15日発行

■編集・発行  
公益財団法人 数学オリンピック財団  
〒160-0022  
東京都新宿区新宿7-26-37-2D  
TEL 03-5272-9790  
FAX 03-5272-9791  
URL <https://www.imojp.org/>